

学校教育 目標	ふるさと「荏隈」と共に生き、共に学び自ら考え行動できる荏っ子の育成
育成を目指す 資質・能力	○知識・技能の習得 ○言語能力(表現力・コミュニケーション能力)

	学力状況について	学習状況について
児童 生徒 の 課題	各種学力調査の分析結果から明らかになった課題 (5年生)算数の「知識」の項目では県平均よりも4.0%、「活用」の項目では県平均よりも2.0%下回っている。 (6年生)国語の「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」の項目のすべてで県平均を下回っている。特に、「思考力・判断力・表現力等」の「B書くこと」では内容項目のすべてで10%以上下回っている。 (6年生)算数の「A数と計算」の項目ではすべての内容項目で県平均を下回っている。	各種学力調査の分析結果から明らかになった課題 ・「自分の考えをもつ(書く)ことができる」項目に肯定的な回答をした児童は 5年生→91% 6年生→85% と6年生では90%に届いていない。
	これまでの学力向上の取組に対する児童生徒の状況(授業及び授業以外の側面から)	
	・学習の中で自分の考えや意見をもつことができる児童が増えつつあるが、友だちの考えを聞き自分の考えに生かしたり自分の考えを積極的に述べることを苦手とする児童が多い。	
指導 の 状況	1 組織的な授業改善の取組状況	
	①「めあて」「見通し」「課題」「まとめ」「振り返り」を板書に位置付けた授業を行った教員を100%にする。 ・1学期末教職員アンケート「当てはまる」「だいたい当てはまる」100%・・・達成できた ※2学期以降も「めあて」等のカードを意識して活用できるよう呼びかける。 ②1日1回以上、効果的なペア・グループ学習を行った教員を100%にする。 ・1学期末教職員アンケート「当てはまる」「だいたい当てはまる」100%・・・達成できた ※2学期以降も効果的なペア・グループ学習を意識するよう呼びかける。 ③「自分の考えをもったり書いたりすることができた」と回答した児童の割合を90%以上にする。 ・1学期末児童アンケート「当てはまる」「だいたい当てはまる」91%・・・達成できた ④「授業中に自分の考えを発表できた」と回答した児童の割合を80%以上にする。 ・1学期末児童アンケート「当てはまる」「だいたい当てはまる」69%・・・達成できていない ※発表する児童に偏りがある。できたことを認めたり発表する場の工夫を行ったりして自尊感情を高めていく。	
	2 その他の学力向上に向けた指導の取組状況	
	①家庭学習の習慣化を図り、「宿題を忘れずにすることができた」が「当てはまる」「だいたい当てはまる」児童の割合を90%以上にする。 ・1学期末児童アンケート「当てはまる」「だいたい当てはまる」97%→達成できた ※「あまり当てはまらない」「当てはまらない」児童の割合が3%→この家庭と連携を密にし家庭学習を習慣化していく。	

学力に関する達成指標

- ・単元末テストの正答率60%未満の児童の割合が15%以下にする。
- ・自分の考えを発表することができる児童の割合を80%以上にする。

今後の 具体的 な取組	【授業改善】		【家庭・地域との協働】	
	〈授業改善のテーマ・重点〉 自分の考えをもち、相手に伝えることができるこどもの育成			
	〈取組内容〉 ①課題に対して見通しをもたせ、自分の考えを友だちと意見を交わし合える授業づくりに取り組む。 ②話し方・聞き方のモデルを活用し、授業の中で進んで友だちに伝え合えるような授業づくりに取り組む。 ③学習過程スタンダードを活用し、1時間の学びの流れが分かる授業に取り組む。		〈家庭・地域の取組内容〉 ○通信や懇談資料等で学習習慣について保護者に協力を求め定着させる。 ○生活リズムについて、家庭で約束をする。 ○落ち着いて学習に取り組むため、忘れ物を無くさせる。	
	〈取組指標〉 ①児童の見通しから課題設定を行い、これから何について学んでいくのかを明確に提示したり、課題設定の前に児童に解決の見通しをもたせる場を設定したりする。 ②「めあて・見通し・課題・まとめ・振り返り」を授業の中で確実に位置付け、1時間の学びを実感できたり次の学びに繋がったりする。		〈家庭・地域の取組指標〉 ○声かけや励ましを行い、家庭学習の時間を確保する。 ○学校からの配布物やメールでのお知らせに必ず目を通し、学校公開日などには積極的に参加する。	
	〈検証指標〉 ①アンケートにおいて「授業中に自分の考えを発表できた」と回答した児童の割合を80%以上にする。		〈家庭・地域の検証指標〉 ○保護者による学校評価アンケートにおいて「家庭学習ができた」の回答が80%以上。 ○保護者による学校評価アンケートにおいて「前日に学習準備ができている」の回答が80%以上。	
	【授業改善以外の学力向上の取組】 ①読書指導(学校図書館を週1回利用) ②言語活動を支えるスキル指導(学習規律の徹底、話し方・聞き方の徹底、「発表の木」を使った発表週間の取組) ③基礎・基本の定着を図る指導(丁寧なテストのやり直し、家庭学習の定着) ④ICT機器やICTサポート人材を活用した授業の取組 ⑤人間関係づくりプログラムの実施			